

會員の頁

第24卷第5號 昭和18年5月

大阪市技術科會聯合會に就て

大阪市府所監査部

振興週間(本誌第24卷第4號會員の頁所載)は本運動の口火であつたが、燃えさかる技術報國の精神はやがて本運動をして永久的に成果あらしめんとの念慮が、澎湃として技術職員間に起り、こゝに力強い専門技術の研究を目的とする細胞組織が結成された。即ち本市技術關係職員は職制を超越して各々の専門部門に分ち、一つの学會的な組織を作り、より深き技能の研鑽、鍛鍊と各技術者間の横断聯絡に依る協力協調の精神を昂揚し、以て本市傳統の事業第一主義を強調し、非常時局の對應に邁進する目的のもとに強大なる一つの研究組織が結成されたのである。

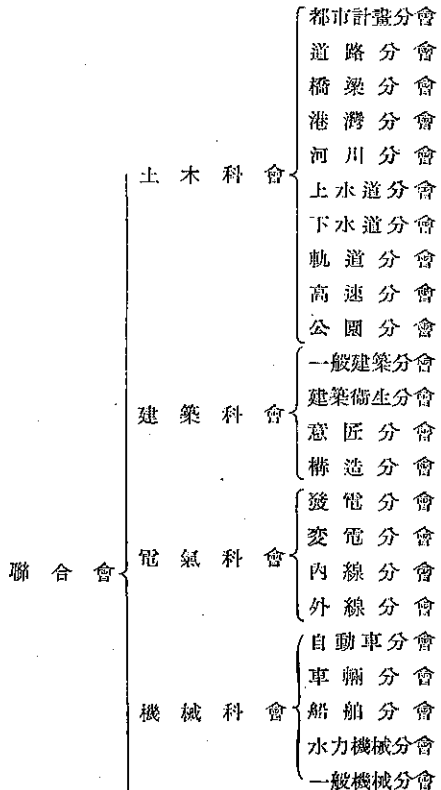
此の組織は土木、建築、電氣、機械及技術關係事務の5科會に全技術關係職員を分屬せしめたものであるが、これこそ本運動の核心とも謂ふべきものであつて、此の科會の活躍こそ將來大阪市の技術向上と、各事業促進上劃期的躍進に資すること大なるべく、延いては國民精神總動員運動の實踐的表現とも謂ふべきものである。

此の技術5科會の聯合會の結成式は、去る1月14日午前9時半を期し大阪市立美術館大講堂に於て内閣情報部情報官及大阪府地方課長等の臨席のもとに市長以下技術關係職員一同集合し、いとも嚴肅に舉行した。尙本聯合會の内容は次の通りである。

大阪市技術科會聯合會々則

- 第1條 本會は大阪市技術科會聯合會と稱す
- 第2條 本市土木科會、建築科會、機械科會、電氣科會及技術事務科會は本會に加盟するものとす
- 第3條 本會は本市技術全般向上發展相互の連絡協調に努め前條の各科會の事業を援助し其の連絡及統制を図り以て本市事業の円滑なる運営に資するを以て目的とす
- 第4條 本會に左の役員を置く
 1. 會長
 2. 副會長
 3. 委員
 4. 幹事

- 第5條 役員は役員會を組織し會の重要事項を決定す
- 第6條 會長は第一助役、副會長は助役及局長を推戴す
會長は會務を總理す
副會長は會長を補佐し會長事故あるときは其の事務を代理す
- 第7條 委員は關係部長各各科會主幹を以て之に充つ各科の主幹たる委員は常任委員とす
常任委員は會の常務を執行す
- 第8條 幹事は委員中より會長之を委嘱す
幹事は役員會の庶務を掌る
- 第9條 本會則施行に關し必要なる事項は會長之を定む



技術關係會
 港灣分會
 電氣分會
 經理分會

かくて各科會の實施すべき具体案は、目下各科會主幹のもとに鋭意攻究中であるが、その主なるものを擧ぐれば次の如くである。

「土木科會」(會員數 1146)

1. コンクリート調査委員會
 2. 仕様書統一委員會
 3. 砂利、砂及ガソリン供給方法調査委員會
 4. 地質並に地盤移動調査委員會
- 都市計畫分會： 區劃整理施行地區に於ける街路計畫
- 道路分會： 雨水孔に關する調査委員會
- 橋梁分會： 電氣熔接に關する研究、橋梁の塗装に就て
- 港灣分會： 軟弱地盤上の埋立に作ふ地層の圧密沈下に關する研究、大阪港に於ける風浪及「うねり」の觀測並に研究、米材並に鋼材を極力節し得る岸壁及防波堤の新断面研究、鉄材は總て「ハイテンションスチール」を使用することとし継手は全部「ウエルディング」を採用することの研究
- 河川分會： 河川淨化に關する件
- 上水道分會： 鉄管継手に於ける鉛の代用品、沈澱池の經濟的構造研究、急速沈澱池の洗滌装置の研究、配水管洗滌方法の研究、鉄管代用管の研究
- 下水道分會： 工場排水調査委員會、下水道計畫の統制に關する調査委員會
- 軌道分會： 輸入溝型軌條用廢止に關する研究、マンガン鋼特種軌條の代用品に關する研究、軌條の熔接並に特殊軌條の肉盛に關する研究、交叉點及分岐點の軌道構造統制に關する研究
- 高・速分會： コンクリート防水の調査、事故發生の場合に於ける応急措置指導書の作成、現場手帳の作成
- 公園分會： 公園淨化の施設と使用材料の調査研究、觀覽券の様式、紙質、体裁改善に關する研究

「建築科會」(會員數 541)

1. 建築展覽會開催、市美術館建築室に於て 3 月 3

日より 6 日まで開催の豫定

2. 建築事務能率増進に關する研究
3. 建築高級構造法の講習會
4. 仕様書、明細書を中心とする設計者及監督者の座談會
5. 各種指導書の作成

一般建築分會： 建築の維持、管理及修繕方法の合理化の研究、建築測量の合理化の研究、仕様書、明細書合理化の研究

建築衛生分會： 本市廳舎建築の衛生方面の調査改良案、小学校建築の温氣筒による簡易煖房法を實施時の吟味、建築物の採光、通風に關する研究、建築物の音響防止に關する研究、燃料節約を目標とせる煖房方法の再検討

意匠分會： 防水材料の比較研究、木材の規格に關する調査、防空的見地より建築物の色彩の研究、防空遮蔽装置の研究、防護室の研究

構造分會： 鉄筋、鉄骨、セメント、其の他材料支給に關する研究、構造計算用図表の作成、鉄筋及鉄骨の節約に關する研究、木造建築新構法の研究、對蹠建築の研究

「電氣科會」(會員數 600)

發電分會： 電氣施設の耐震、耐火防火研究、地盤沈下に作ふ電氣施設の對策、發電電所に於ける傷害防止研究、發電電所に於ける電氣事故防止研究、貯炭方法の研究

變電分會： 變止機購入仕様書の吟味、變電所の經濟的運転、油入遮断器の統制、避雷装置の統制、變電所建設規定の作成、路面電車變電所終夜運転に對する對策、發電電所の防空對策、電氣設備の絶縁協調、線間隔壁の研究、避雷針の設置及施設方法、需要家に於ける高圧屋内電氣設備の調査及改善研究

内線分會： 低圧架引込線工事方法の改善研究、高圧器燒損事故原因調査、靜電蓄電器による力率改善の研究、燈火管制に於ける管制程度及方法の研究、防空演習に於ける街路殘置燈の設置並に之が處置

方法の研究、電氣事故防止に對する研究、傷害事故防止に對する研究、電機擅用の調査、發變電所の照明問題

外線分會：配電線の損失調査、架空送電線、配電線、引込線、人孔鉄蓋等の盜難防止座談會、傷害事故防止座談會、電氣事故防止座談會、變電所容量と供給電力との關係、夜間線廢止に對する研究、裸線使用に對する研究、電柱に對する研究、柱上閉閉器に對する研究、需要家より2電線又は2回送電線を要求せられたる時の對策、地下線抵抗の調査、地下管路に於ける電纜接続の研究、電蝕防止問題、電力、電糧被給量節減の件、電話用管路に陶管其の他を使用する研究、配電線の電圧測定方法、電車架線の改良研究、人孔に對する研究、高圧柱上終端面に對する研究

「機械科會」(會員數 350)

自動車分會：ガソリン節約に關する件、洗石油節約に關する件、600W 油の取扱ひに關する件、廢油の始末に關する件、ウエスの消費節約に關する件、ボルトナット消費節約に關する件、水道使用の節減に關する件、自動車修繕工場の件、電氣自動車及木炭自動車の試川及研究、

車輛分會：ギヤー齒缺けに對する電氣熔接の新研究、黒色速乾性ペイントの新研究、地下鉄車体塗料の研究、電車外部洗滌裝置の研究、電車主要材料の節約に關する件、車輛竣功圖表の作成、車輛關係法規の拔萃作成、車輛検査規程の作成、車輛検査施行心得の作成、工場車庫間の電車廻送時間訂正の研究、單車運轉臺に戸扉取付の試作、車臺部分品名稱圖便覽作成、公用廣告枠外れ防止金物の改造、車庫の所屬車輛減少の件、各型車輛の木製サイドパネルの巾の統一に關する件、701 型車輛出入口戸硝子の大きい統一の件、獎勵制度の研究

船舶分會：諸種船舶修繕の合理化研究、燃料節約の件

水力機械分會：下水唧筒に於ける羽根車マウスリング磨滅の對策研究、地盤沈降に對する

可換性パイプの研究、大型量水裝置の研究、制水瓣の構造研究、下水用唧筒構造の研究、水槌作用を伴はざる阻止瓣の研究

一般機械分會：國産品使用に對する考案、工事用機械器具の維持、購入、修繕に關する研究、鉛管の再生研究、促進汚泥の脱水方法研究、汚泥乾燥方法、給水、衛生、暖房設備の維持及運轉の合理化研究、請負契約制度改善の件

「技術關係事務科會」

1. 請負人に對する座談會
2. 調度課對技術者との座談會
3. 工事請負請求手続きの検討
4. 技術家と事務家との座談會
5. 工事請負契約書統一の研究
6. 事業部課と用地關係座談會
7. 共通材料の製造所見學並に講演會
8. 主要材料の製造所見學並に講演會
9. 物品購買契約書統一の研究

各分會：土木建築等に關するテクニクの説明並に實施見學、主要工事用材料及消耗品の購買法の研究、建築設計其の他維持修繕手続きの研究

一方綜合的行事の一として、本市技術者の本市内外の官公署並に民間の工事現場及工場等の見學會を催したのである。見學希望箇所 265 箇所、延人員 4,235 人の夥しき數を示し、且下これ等の見學研究が盛んに行はれつゝある。

尙見學終了後必ず協議會を其の現場に於て開催し、設計者、監督者に對し熱心なる質疑応答がなされた。更に見學會と共に協議會或は座談會が絶えず開催せられた。其の一例を擧ぐれば“50年後の大阪に就て”本市技術者のエキスパートが、精確なる統計數字を基礎に理論を進め、移り行く産業都大阪市の姿を、まざまざと畫き、或は高遠なる理想都を計畫したのである。更にラヂオを通じて全市民に本市事業の遂行上の苦心を述べ市民の援助を乞ふたのである。

かくて本運動も其の一段階を經、やがて眞觀なる調査研究は各科會に於て着々進められつゝある。

一方工事現場に於ても更に上司の巡視あり、市長、助役並に各部長が一隊となり、我は各班に分れ振興週間の1週間はもとより更に1月10日より1週間現

場を始め各營業所、出張所に至る迄 68ヶ所詳細に視察すると共に現場関係者の勞苦に對して心をこめて激勵したのである。かゝる事は大阪市未曾有の事であつて、事務関係者はしみじみと工事の複雑にして膨大なるを知り、如何に工費の巨額を要するかを深く認識したのである。又 20 數年間本市に職を奉じて始めて市長の温顔に接した喜びをしみじみ語つた現場従業員もあり、眞に意義深きものがあつた。

更に本運動の原動力たる技術の進歩向上の爲に、平素の経験、思索並に瀟灑をこの機會に發表せしめ、以て技術改善に資せん爲に、昨秋以來、新工法、新研究並に技術關係事務に關する改善を募集した。現在迄の応募數 118 件であらゆる部門に亙り、従業員に至る迄その眞鍮な改善研究案が提出せられてゐる。

やがて右改善案は、3 月上旬、市長の定むる審査委員會を経て、その優秀なるものが發表され、その改善案が逐次實現されるであらう。

応募題名の二三の例を擧ぐれば次の如くである。

土 木 關 係： クーロム土圧論の簡易解法と裏込材の土圧に及ぼす影響に就て、軌道面鋪裝試案、小野式地下鉄隧道工事に就て、其の他 4、5 篇

建 築 關 係： 換氣窓の新研究、木造建築の耐火、大阪市電塗裝の更生に就て、其の他 5 篇

電 氣 關 係： 電圧調整器並列監視の新方法、中性點の移動と防止に就て、直列キャパシトルに因る電圧調整、其の他 14 篇

機 械 關 係： コンクリート廻転混練機附屬簡易量水器に就て、土砂運搬改善に就て、水位計改良に關する一考察、其の他 20 篇

事 務 關 係： 工事用物品購入手續の促進改善に就て、タクシー制の研究、單價契約部分品修理物に對し納期を附するの件、外 19 篇

かくて大阪市技術向上運動は國民精神總動員運動と

相俟つて、あらゆる方面にその顯著なる實績を擧げつつある。即ち上司と部下との融和、協調はもとより戰時体制下に於ける本市設計計畫並に工事に對する眞鍮なる再檢討、工事材料の節約對策等、精神的、物質的、いづれの方面にも多大の効果を擧げつゝあり時偶々内閣情報部長横溝光輝氏の現地狀況視察ありて本運動の熱意は益々高まると共に、各技術科會の活躍はさらにその純技術的の成果により大なる輝きを添えるであらう。

亦本運動中、各事業部課に於ては、注意書、或は指導書を發行して、其の知識の啓發に努力し、其の得たる收穫は決して僅少ななるものではない。こゝにその刊行物の主なるものを摘記すれば左の通りである。

技術向上運動早わかり	監査部發行
工事現場安全設備規準	同
工事災害に就て	同
建物の手入に就て	同
大阪市の地盤沈下に就て	同
橋梁技術家の心得	土木部發行
埋設工事監督員心得	同
港湾工事現場監督員心得	港湾部發行
港務係特種指導書	同
作業現場臨時工事規程	電氣局發行
勞働者辨當 1 週間献立	保健部發行
校園建設技術指導書	教育部發行
給水課工事監督員心得	水道部發行
物資の愛護に就て	同
建物管理上の心得	社會部發行
石炭の焚き方	同
石炭の完全燃焼に就て	同
塵芥の焚き方	保健部發行
作業災害の豫防と応急救護處置に就て	同
上下水道事業の苦心談、經驗談	
(第 1 輯)	水道部發行